

会議記録

高松市附属機関等の設置、運営等に関する要綱の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会議名	第25回史跡高松城跡整備会議建造物整備部会
開催日時	令和3年3月10日(水) 13時00分～15時30分
開催場所	玉藻公園 披雲閣 檣の間
議題	(1) 披雲閣(波の間・檣の間)耐震補強案 (2) 披雲閣(蘇鉄の間)耐震補強工事の進捗状況 (3) 桜御門復元整備工事の進捗状況
公開区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上記理由	
出席委員	谷部会長・増井委員・三浦委員・山田委員・文化庁玉井調査官(リモート)
傍聴者	5人
担当課及び連絡先	文化財課(埋蔵文化財センター) 823-2714

協議経過及び協議結果

会議を開会し、次の議題について報告し、下記の結果となった。

議題(1) 披雲閣(波の間・檣の間)耐震補強案

(事務局) 前回提示した承を得た檣の間、波の間耐震補強案D案について、改善案E案を説明する。一部の柱を厚くすることで鉄骨の数を減らすことができ、北側からの景観を改善できる。なお、この案については宮本委員にもご意見を伺い、耐震の強度としては問題ないのかという質問を受けた。これに対し(公社)文化財建造物保存技術協会の方から構造上問題ないと回答しており、このE案については宮本委員からも了承をいただいている。基本方針は案の通りだが、今後実施設計をするにあたり更に改善される可能性もある。

(委員) 以前から指摘されていた事項が改善されたのはよかった。新しい技術・素材などができる等、もし改善する余地があればより良い方向転換をしてほしい。

(部会長) 文化庁はE案について、了承いただけるか。

(文化庁) この案で進めていただければと思う。

議題（２）披雲閣（蘇鉄の間）耐震補強工事

（事務局）現在、床・天井の解体が完了している。その中で、部分的な補修の形跡が見られた。瓦は三州瓦で、瓦棧と瓦の突起部分があっていないため、葺き替えが行われたと思われる。庇は、雨水で腐食した部分が補修されていた。床下から部分的に焦げ跡がついた梁と桁が見つかり、ぼやがあった可能性がある。

（事務局）建具や調度品などの内装部分について報告する。建具は134点が残りに、披雲閣内の倉庫に保管されている。寸法や写真資料を参考に使用場所を検討する予定。調度品は、松平家資料の一部として県立ミュージアムで保管されている。実際の物・台帳・絵葉書（写真資料）など、披雲閣の本来の使用方法が分かるデータが多く残っている。

（委員）披雲閣の家具調度は今残っているのか。

（事務局）県立ミュージアムに保管されているが、資料化がまだ進んでいないと伺っている。平成14年の企画展開催時に部分的に整理されており、現時点では80点確認されている。

（委員）それら資料を展示のために一時借用するのは可能か。建具については、復元・修理して使うような事業計画はあるのか。

（事務局）これまで、内装に影響を及ぼさないような耐震補強工事案を立ててきた。今実施の耐震補強工事にはそういった活用の部分は含まれていないが、将来的には実施できればと考えている。

（委員）委員の総意としてもぜひ積極的に事業化して進めてほしい。近代の御殿建築に伴う内装の復元について、非常に優れた資料状況であり、全国的にも進んだ取組になり得る。公開のみならず学術的にも非常に重要である。

（蘇鉄の間耐震補強工事の現地見学）

（委員）コンクリート製束に新聞紙が巻き込まれており、年代特定の根拠にできるかもしれないので調査すること。

議題（３）桜御門復元整備工事の進捗状況

（工事の現地見学）

質疑は特になし。